

第33回 伊勢崎第九演奏会

モーツァルト／アヴェ・ヴェルム・コルプス

ベートーヴェン／交響曲第9番 ニ短調 作品125「合唱付」

令和6年

12月14日(土)

開場 13:30

開演 14:00

メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎
(伊勢崎市文化会館)大ホール

ソプラノ
砂田 愛梨
Airi SUNADA

テノール
福井 敬
Kei FUKUI

アルト
藤井 麻美
Asami FUJII

©FUKAYA Yoshinobu_aura

バリトン
小林 啓倫
Hiromichi KOBAYASHI

指揮
太田 弦
Gen OHTA
©Ai Ueda

管弦楽：群馬交響楽団
合唱：伊勢崎第九を歌う会

指定席 4,500円(ときめきくらぶ会員4,300円)

一般自由席 3,500円(ときめきくらぶ会員3,300円)

高校生以下自由席 500円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

●9月5日(木)9:00からときめきくらぶ会員電話予約
(TEL.0270-23-6070) (メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎のみで
受付。／席の列番の指定はできません。)

●9月8日(日)9:00から一般窓口販売
*指定席は、メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎のみでの販売です。

プレイガイド

メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎(伊勢崎市文化会館) TEL.0270-23-6070
人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター TEL.0270-76-2222
赤堀芸術文化プラザ TEL.0270-63-1200

会員募集中

伊勢崎第九を歌う会
公式 facebook
<https://ja-jp.facebook.com/isesakidai9>



～ 出演者プロフィール ～



©Ai Ueda

太田 弦 Gen OHTA 指揮 Conductor

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。
東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。
同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。
2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講する。
これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月から2022年3月まで大阪交響楽団正指揮者を務める。2023年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に、2024年4月より九州交響楽団首席指揮者に就任。

砂田 愛梨 Airi SUNADA ソプラノ Soprano



東京音楽大学卒業及び同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第18期修了。文化庁新進芸術家海外研修員、五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。S. リチートラ国際声楽コンクール第2位、M. オリヴェーロ国際声楽コンクール、G. パスタ国際声楽コンクール、ミラノ・ロータリークラブ主催 Koliqi 賞国際声楽コンクールでそれぞれ第3位、F. リッチ国際声楽コンクール審査員特別賞など多数受賞。「ドン・パスクアーレ」ノリーナ役でサッサリ市立劇場やコゼンツァ市立劇場等に出演し、そのほかヴィオレッタ、ジルダ、ムゼッタなどイタリアで様々なオペラ公演やコンサートに出演。2024年秋には日生劇場公演「連隊の娘」マリー役に出演予定。ミラノ在住。

藤井 麻美 Asami FUJII メゾソプラノ Mezzo soprano



洗足学園大学卒業、同大学院及び新国立劇場オペラ研修所修了後、渡伊。オペラでは、日生劇場『ヘンゼルとグレーテル』母、『ランメルモールのルチア』アリーサ、二期会『蝶々夫人』スズキ、『フィガロの結婚』マルチェリーナ、『椿姫』アンニーナ、フローラ等で出演、好評を博している他、『ナクソス島のアリアドネ』『リゴレット』等のオペラにも出演している。またコンサートでも、「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」子どものための音楽会で「第九」アルトソリストを務めた他、ラター「グローリア」、ヴィヴァルディ「グローリア」等の宗教曲ソリストとしても活躍。今後は二期会『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『影のない女』乳母等で出演予定。二期会会員

福井 敬 Kei FUKUI テノール Tenor



国立音楽大学卒業。同大学院及び文化庁オペラ研修所修了後、渡伊。第65回芸術選奨文部科学大臣賞等受賞歴多数。二期会『ラ・ボエーム』ロドルフォでオペラデビュー後、新国立劇場『ローエングリン』、二期会『パルジファル』各タイトルロール、兵庫芸文『トスカ』カヴァラドッシ等の大役を演じており、とりわけ『トゥーランドット』カラフは様々なプロダクションで賞賛を得ている。コンサートでも小澤征爾、Z. メータ等と共演、その輝かしい声と卓越した表現力で聴衆を魅了している。CDも『朝は薔薇色に輝き』等数多くリリース。23年、野村萬斎演出、全国共同制作オペラ『こうもり』アイゼンシュタインにて出演、高い評価を得た。国立音楽大学教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員

小林 啓倫 Hiromichi KOBAYASHI バリトン Baritone



国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所及び新国立劇場オペラ研修所修了。第52回日伊声楽コンクール第2位、第89回日本音楽コンクール第1位等受賞歴多数。オペラでは二期会『ジャンニ・スキッキ』マルコ、『エロディアード』ヴィテリウス、『ルル』猛獣使いおよび力業師、『こうもり』アイゼンシュタイン等で出演している他、近年も二期会『トゥーランドット』ピン、『ドン・カルロ』ロドリゴは好評を博した。またコンサートでも、バッハ「マタイ受難曲」やベートーヴェン「合唱幻想曲」「第九」等のソリストとして活躍。テレビ朝日「題名のない音楽会」等のメディアにも出演している。24年9月、二期会『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモにて出演予定。二期会会員

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通した復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2023年度までに延べ650万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1994年に「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されており、定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎える。

また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。

伊勢崎第九を歌う会

平成元年、伊勢崎市の文化芸術の向上を目的として、同市において第九演奏会を開催する合唱団として結成された。現在、毎週月曜日夜に、角田和弘氏、佐藤貴子氏、佐伯英美氏による指導を受け、来たる12月の演奏会に向け練習に励んでいる。